

2013年1月20日 河北新報

被災地の今 小学生の目で

子どもたちが東日本大震災の被災地の「今」や地域に残る豊かな自然などを映像で記録するイベント「ITキャンプ」が19日、石巻市雄勝地区であった。

雄勝地区で小中学生の学習支援に取り組む公益社団法人「sweet treat 311」（東京）などが主催。市内の小学生14人が映像制作の専門家らの指導を受け、タブレット型多機能端末「iPad」やスマートフォン（多機能携帯電話）で撮影した。

参加者は5班に分かれ、被災

石巻・雄勝 IT キャンプ

した雄勝小の校舎や海水浴場、仮設商店街などを回った。全員で船上から海岸線の様子も映像に収めた後、パソコンを使って各自が3分程度に編集した。

大須小5年の高橋愛佳さん（11）は「いつも目にしている風景も、映像にすると印象が違って見えた」と話した。

キャンプは今後も定期的に行なわれる。復興の軌跡を記録していく子どもたちの映像を、ドキュメンタリー作品としてまとめることも計画している。



スマートフォンで海水浴場周辺の風景を撮影する小学生ら